


 **JTU きょうと教組**  
日本教職員組合

# NEWS LETTER

2020年3月15日発行 No.127  
京都府教職員組合 小鍛治 啓  
Kyoto School Staff Union   
Tel: 075-252-6771  
Fax: 075-252-6772  
<http://kyoto-union.net>

2020春闘

～学校にも働き方改革の風を～

ワーク・ライフ・バランスを実現し、誰もが安心して働ける職場に！！

連合は20春季生活闘争（春闘）を「総合生活改善闘争」と位置づけ、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な課題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争であることを確認しました。そして、賃金引上げとともに「すべての労働者の立場にたった働き方の見直し」を要求するとしました。

「働き方の見直し」では、健康で働き続けられる労働時間と過労死ゼロの実現、「生活時間」の充実を含めたワーク・ライフ・バランス社会の実現、個々人の状況やニーズにあった働き方と処遇の在り方を総体的に協議・検討した上で、①長時間労働の是正、②改正労基法の遵守、同一労働同一賃金のとりくみ等のワークルールの遵守、③高齢となっても安心して安全に働き続けられる環境整備、④「障がい者」雇用、⑤ジェンダー平等・多様性を推進するための改正女性活躍推進法及び男女雇用機会均等法の周知・点検活動、⑥あらゆるハラスメント対策と差別禁止のとりくみ等が提起されます。

20-21年度連合運動の重点において、『教育の質的向上をはかるため、学校の働き方改革を実現し、教職員の長時間労働を是正する。また、国による教員の勤務実態の把握と、それにもとづく給特法の抜本的な見直しが検討されるよう、広く社会に働きかける。』ことが確認され

## 声を届けて下さい！！

新型コロナウイルス対策で急きょ始まった一斉臨時休校。

その対応で苦慮されている日々だと思います。

現場で感じられていること、問題、課題そして不安などきょうと教組に届けて下さい。

きょうと教組から教育委員会へ、また、日教組、日政連議員から国政の場へその声届けます。

\*日教組はこの間、文科省に対して要請を行っています。詳細は別添えの文書にまとめました。ご覧ください。

ました。

日教組は、第3回全国代表者会議（2月13日）において、「20春季生活闘争方針」を決定。今次春闘では、「働き方改革の風」を吹かせ続けることで、教職員のワーク・ライフ・バランスを確立し、安心して働ける職場の実現をめざしてとりくむことを確認しました。

教職員の長時間労働是正のためには、「学校を変える」「働き方を変える」ことが必要となります。そのために、「時間外勤務」の縮減とともに事務職員・現業職員等の36協定の完全締結にとりくまなければなりません。「働き方改革の風」を吹かせ続けることで、教職員のワーク・ライフ・バランスの確立、安心して働ける職場が作りだされることにつながります。

また、昨年は各地で教職員の「欠員」の問題が明らかになりました。教職員定数を充足させること、代替教職員の配置は教育行政の責務として完全配置を求めるとともに、教育予算の拡充、教職員の加配を求めることも20春闘の重要課題です。

## 第29回近畿ブロック母と女性教職員の集い in 滋賀

# 子どもたちに平和な未来を ～まもろう 子どものいのちと権利～

日教組近畿ブロック「母と女性教職員の会」が2月9日に滋賀県で開催され、京都からは5人が参加しました。

この時代に「母と女性教職員」と、わざわざ銘うつ必要があるのかと思うのですが、敗戦の直後に二度とわが子、教え子を戦場へ送らないという強い決意のもとに始まった「歴史」を忘れないためにこの名称で毎年集会が行われています。なので、実際は性別不問、母親でなくても組合を通して市民参加ができる貴重な学びの場になっています。日教組が培ってきた人権意識に基づく信頼できる講師による記念講演も毎回の楽しみの一つです。

今年はセクシュアリティ教育で多数の著書のある良(うしろ)香織さんによる「すべてのおとなと子どもにかかわる<性>を知ろう～学校や家庭でとりくむにあたって～」と題した講演でした。

性は人の一生に深く関係する基本的な人権の問題です。知人に赤ちゃんが生まれたら私たちは何も考えずに「おめでとう！どっち？」なんて性別を聞きます。（なんで聞くのでしょうか？）その後、実際に直接体に起こること例えば月経の処理、射精の片付けかた、性的関係を持つことなどだけでも次々大きな出来事がおこります。にもかかわらず家庭や学校でどれだけの時間話し合う



機会があるでしょうか。不幸にして何らかの性的トラブルが起こった時、教科書には「信頼で